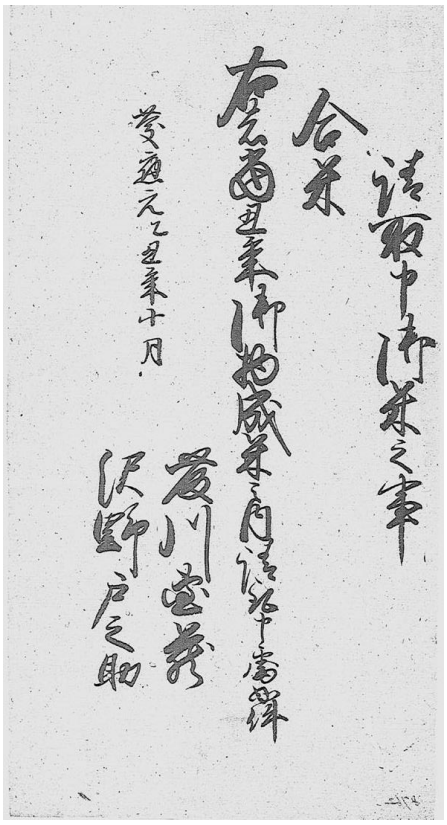
古文書（こもんじょ）とあそぼう！

おうちミュージアム　おうちでたのしくまなべる

「古文書」って何？　受け取り証明書編

昔の人が書いた手紙や記録のことです。古文書を読むことで昔にあった出来事や人々の生活など、さまざまな歴史を知ることができます。博物館にとって大切な資料のひとつです。

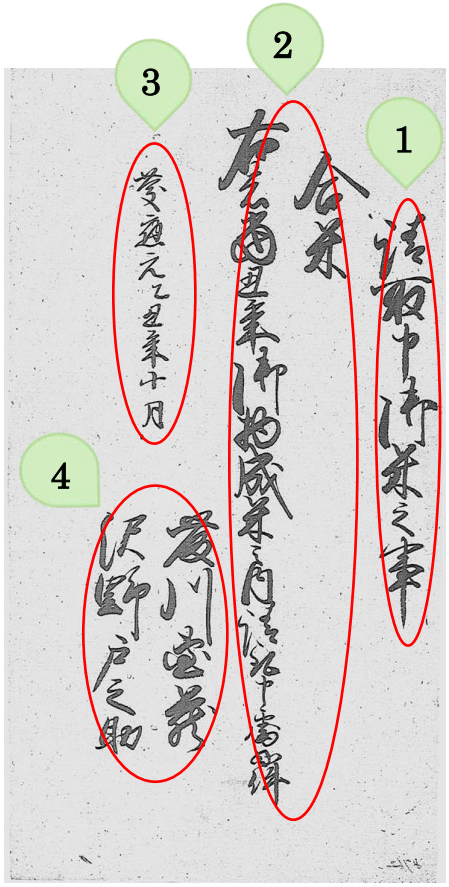


古文書に書かれた文字は、今の文字とは違ってぐにゃぐにゃしていて読みづらいですね。この文字を「くずし字」と呼んでいます。

- 何が書いてあるんだろう？
- いつ書いたものなんだろう？
- だれが書いたんだろう？



たとえば、この文書だと・・・



1 題
2 本文
3 日付
4 書いた人



手紙など、あて名が書いてある文書もあります。あて名は③の左に書かれることが多いです。
また、④には書いた人のハンコが押されていたり、花押（かおう）と呼ばれるサインが書かれていたりすることもあります。



日本銀行金融研究所
貨幣博物館

掲載している文章及び図版・イラストの無断転載・利用を固く禁じます。

古文書（こもんじょ）とあそぼう！

おうちミュージアム　おうちでたのしくまなべる

古文書を読んでみよう！

請取申御米之事

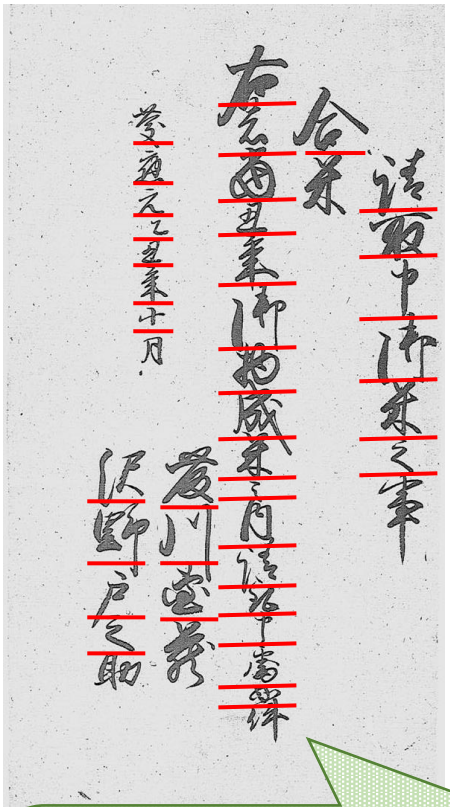
合米

右者当丑年御物成米之内請取申処如件

慶応元乙丑年十月

藤川団蔵

沢野戸之助





この文書は、物成（ものなり）（江戸時代の年貢（ねんぐ）のひとつ、今でいう税金のこと）をちゃんと受け取りましたよ、という証明書。今と違ってお米をおさめていたことがわかります。
昔から証明書は大切なものだったのです。

赤い線のところで文字が区切られます。
わかりやすい文字もあれば「これがこの字！？」と思うものもありますね。
他の文書を見て、同じ文字を探してみるのも面白いですよ。



古文書　まめ知識

ひらがなでも漢字？

文書中の「者」「之」は、それぞれひらがなの「は」「の」を表しています。このように、ひらがなでも漢字で書かれていることがあります。

「如件」は何と読む？

「くだんのごとし」と読みます。漢文で見られる「返り字」と呼ばれるもので、上下の文字の順番を逆にして読みます。「前に書いたとおりです」という意味を表し、文末によく書かれています。

「乙な丑」ってどんなうし？

十干十二支（じっかんじゅうにし）と呼ばれるもので、年を表しています。十干と十二支の組み合わせは毎年変わり、全部で六十種類あります。六十才を表す「還暦」（かんれき）という言葉はここからきています。

↓この古文書が掲載されている貨幣博物館のページはこちら↓
https://www.imes.boj.or.jp/cm/research/komonjo/001005/007/909948_1/html/

日本銀行金融研究所 貨幣博物館

掲載している文章及び図版・イラストの無断転載・利用を固く禁じます。